

2003 年秋季年会

年会プログラム

於 愛媛大学

2003 年 9 月 25 日 (木) ～ 9 月 27 日 (土)

日 本 天 文 学 会

< 年会プログラムは、取り外せます。 >

日本天文学会 2003 年秋季年会プログラム

場 所 愛媛大学城北キャンパス (案内図参照)

〒790-8577 愛媛県松山市文京町

電話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2003 年 9 月 24 日 (水) ~ 9 月 28 日 (日)>

日 程

月日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
9月24日 (水)							記者会見				
9月25日 (木)	A		Q. 星 間		(理 休 事 み 会)	ポ ス タ ー	Q. 星 間		学術会議 特別 セッション	ALMA 特別 セッション	
	B		N. 恒 星				N. 恒 星				
	C		B. アマプロ連携				H. 高密度天体				
	D		X. 情報／R. 銀河				R. 銀 河				
	E		A. 南天の探求				A. 南天の探求				
	F		U. 宇 宙 論				U. 宇宙論／V. 地上観				
	G						Y. 教育 /K. 天力/L. 太陽系				
9月26日 (金)	A	Q. 星間／P. 星・惑星		ポ ス タ ー	(評 議 員 会)	P. 星・惑星		天文教育 フォーラム	総 会 出 席 者 確 認	総 会	懇 親 会
	B	N. 恒星／M. 太陽				M. 太 陽					
	C	H. 高密度天体				H. 高密度天体					
	D	R. 銀 河				R. 銀 河					
	E	T. 銀 河 団				T. 銀河団／S. 銀河核					
	F	V. 地 上 観				V. 地 上 観					
	G	W. 飛 翔 観				W. 飛 翔 観					
9月27日 (土)	A	P. 星・惑星		ポ ス タ ー	昼 休 み	P. 星・惑星					
	B	M. 太 陽				M. 太 陽					
	C	H. 高密度天体				H. 高密度天体					
	D	R. 銀 河									
	E	S. 銀 河 核				S. 銀 河 核					
	F	V. 地 上 観				V. 地 上 観					
	G	W. 飛 翔 観				W. 飛 翔 観					
9月28日 (日)							公開講演会				

A 会場：共通教育講義棟 大講義室
B 会場：共通教育講義棟 2 F (講 24)
C 会場：共通教育講義棟 3 F (講 35)
D 会場：共通教育講義棟 4 F (講 45)
E 会場：共通教育講義棟 1 F (講 11)
F 会場：共通教育講義棟 2 F (講 21)
G 会場：共通教育講義棟 3 F (講 31)

受 付：共通教育講義棟 1 F ロビー
ポスター会場 P1：大学会館 3 F
ポスター会場 P2：大学会館 3 F
会議室 1：共通教育本館 2 F (B 202)
会議室 2：総合研究棟 1 6 F
懇親会会場：生協食堂 (大学会館 1 F)

◎講演数

講演数：合計 595

(口頭講演 (a)：320、ポスター講演 (b)：230、ポスター講演 (c)：45)

◎参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円	5,000 円
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円	5,000 円 (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円	2,000 円 (購入希望者のみ)

※参加費・講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※講演申し込み後にキャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180×横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、9 月 25 日の 9:30 から 9 月 27 日の 13:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP または液晶プロジェクターをご使用下さい。(液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のため OHP での発表もできるようにしておいて下さい。また迅速に講演者交代を行うためケーブル切り替え器を用意していますので、一つ前の講演中に計算機の接続をして待機して下さい。)

◎会期中の行事

1. 記 者 会 見 : 24 日(水) 13:30～ 会議室 2
学会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 理 事 会 : 25 日(木) 12:00～13:00 会議室 2
3. 学術会議特別セッション : 25 日(木) 16:00～17:30 A 会場(大講義室)
4. ALMA 特別セッション : 25 日(木) 17:30～19:00 A 会場(大講義室)
5. 評 議 員 会 : 26 日(金) 12:30～13:30 会議室 2
6. 教 育 フ ォ ー ラ ム : 26 日(金) 15:30～16:30 A 会場(大講義室)
7. 総 会 : 26 日(金) 16:30～18:00 A 会場(大講義室)
(16:30～17:00 総会出席者確認、17:00 総会開始)
主な議題 = ○ 2004 年度事業計画
○ 2004 年度収支予算
○ 第 15 期評議員候補者
8. 懇 親 会 : 26 日(金) 18:30～ 生協食堂
9. 公 開 講 演 会 : 28 日(日) 13:30～16:30 松山市民会館中ホール

◎学術会議特別セッション

「日本学術会議の改革について」

主 催：日本学術会議天文学研究連絡委員会

日 時：2003年9月25日（木）16:00～17:30

場 所：A会場（大講義室）

概 要： 日本学術会議の改革問題が焦点になっている。総合科学技術会議が「日本学術会議の在り方について」を発表し、当面は「国の特別の機関」として位置づけつつ、会員選出法（学協会からの推薦から会員による推薦制に）、部門（7部門から2-3部門に大きくくり化）、運営体制（総会主義から理事会主導）、連携体制（「連携会員（仮称）」の導入）、という当面の改革案が示されている。日本学術会議においても、今年10月からの第19期において、これら当面の改革を推進しつつ、自己改革を推進することになっている。本特別セッションは、日本学術会議改革の動きを日本天文学会会員に広く知らせるとともに、日本の科学・技術政策全般の情勢の中でこの問題を捉えることを目的としている。

プログラム：1. 日本学術会議改革問題の経緯について 池内 了（天文研連委員長、名古屋大学教授）
2. 科学・技術政策と日本学術会議改革問題 海部宣男（天文研連委員、国立天文台長）
3. 討論

世 話 人：池内 了

◎ALMA 特別セッション

「ALMA で探る宇宙－ALMA は近傍銀河に何を見るか－」

主 催：日本学術会議天文学研究連絡委員会、日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会
日本学術会議電波科学研究連絡委員会 J 分科会、日本天文学会
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日 時：2003年9月25日（木）17:30～19:00

場 所：A会場（大講義室）

概 要： アルマ（ALMA = Atacama Large Millimeter/submillimeter Array; アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパによる共同建設・共同運用を目指し、予算措置で先行する北アメリカ・ヨーロッパによる建設が開始されようとしています。日本の建設参加はその装置性能に著しい向上をもたらすことから欧米からも強く望まれており、2004年からの参加実現を目指した準備や国内外の各方面との折衝は大詰めを迎えています。

本特別セッション「ALMA で探る宇宙」では、アルマ計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMA で実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓、が日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。これまで、星・惑星系形成（2001年春季年会）、銀河の形成と進化（2001年秋季）、活動的銀河中心核（2002年春季）、宇宙物質の進化（2003年春季）を取り上げてきましたが、今回はアルマのもっともプロダクティブな分野の一つである近傍銀河の観測研究を取り上げます。あわせて、他波長の将来装置とアルマとの連携についても考えたいと思います。

プログラム：1. あいさつ （天文研連委員長 名古屋大学大学院理学研究科 池内 了）
2. ALMA 計画の現状と今後 （国立天文台 ALMA 計画準備室 川辺良平）
3. パネルディスカッション「ALMA は近傍銀河に何を見るか」

司 会 東京大学天文学教育研究センター 祖父江義明

パネリスト 国立天文台光学赤外線天文学研究系 今西昌俊

国立天文台理論天文学研究系 和田桂一

名古屋大学太陽地球環境研究所 水野 亮

京都大学大学院理学研究系 松本浩典

世 話 人：池内 了（天文研連委員長、名古屋大学大学院理学研究科）

長谷川哲夫（天文研連委員、国立天文台）

河野孝太郎（東京大学大学院理学系研究科）

水野 亮（名古屋大学太陽地球環境研究所）

連 絡 先：長谷川哲夫 <tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp> 国立天文台 電話 0422-34-3780

◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

- テ ー マ：「就職：採用する側とされる側のミスマッチ — こんな人材がほしい」
- 日 時：2003年9月26日（金）15：30～16：30
- 場 所：A会場（大講義室）
- 概 要：天文学会の研究者人口調査からもわかるように、若手研究者の人口が急激に増加しており、研究職への就職はとてきびしくなっています。いま中堅の世代も昔きびしい就職難を経験しており、その中で、それまで天文学者のいなかった教育系や私立大学などの職を切り開き、活躍している人々がいます。また天文学者が大勢いる環境でも、就職したら研究だけやっていたらよい、といった部署はほとんどありません。したがって新任人事を採用する側からみたら、研究しかできない、研究にしか興味がないという人は理想的な候補ではありません。では研究能力以外には、どのような能力が求められているのでしょうか。またそれは何故なのでしょう。研究職が社会から求められている役割は？このフォーラムはそれを考えるための材料を提供します。
- 内 容：1. 私立大学編：「教育と研究を楽しむ方法」
比田井昌英（東海大総合教育センター）
2. 地方大学編：「地方大学における研究教育環境」
山内茂雄（岩手大学人文社会科学部）
3. 公開天文台編：「公開天文台で欲しい人材の理想像」
綾仁一哉（美星天文台）
- 参 加 費：天文教育フォーラムのみの参加者は、参加費は不要です。年会受付で、その旨お伝え下さい。
- 実 行 委 員：沢 武文（愛知教育大学）、山縣朋彦（文部科学省）
矢治健太郎（かわべ天文台公園）、鈴木麻乃（愛媛県総合科学博物館）
- 問い合わせ先：沢 武文（愛知教育大学）tsawa@aeu.ac.jp

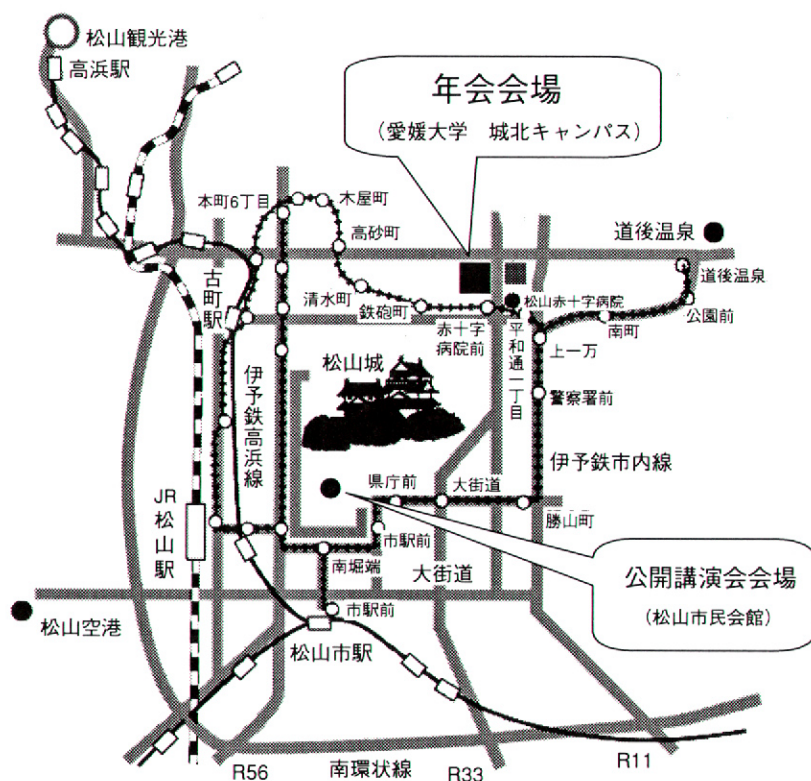
◎日本天文学会公開講演会

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会
愛媛県総合科学博物館、NHK 松山放送局、
南海放送、朝日新聞松山支局、
読売新聞大阪本社、毎日新聞松山支局

- テ ー マ：「21世紀・宇宙への挑戦」
- 日 時：2003年9月28日（日）13：30～16：30（13：00 開場）
- 場 所：松山市民会館中ホール
- 対 象：中学生以上・一般向け
- 講 演 I：ガスを吸い込むブラックホールとX線の放射
- 講 演 者：牧島一夫（東京大学・教授）
- 講 演 II：すばる望遠鏡で見る遠宇宙
- 講 演 者：家 正則（国立天文台・教授）

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

秋季年会会場（愛媛大学）のご案内



交通案内

★愛媛大学城北キャンパス

〈JRをご利用の方〉

J R松山駅下車。伊予鉄市内線（1,2番）乗車後（乗車時間15分）、赤十字病院前下車。北へ徒歩5分。

〈航空機をご利用の方〉

松山市内行きリムジンバスに乗車後（乗車時間15分）、JR松山駅下車。以下、JR利用時を参照。

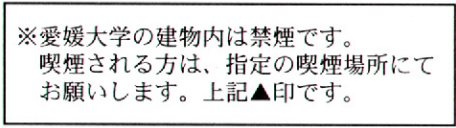
アクセスに関するホームページ：<http://www.ehime-u.ac.jp/map/access.html>

※ 学内には駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

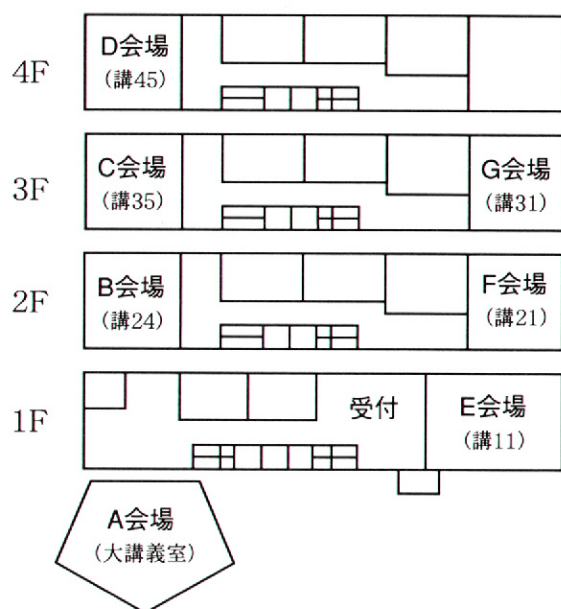
★松山市民会館

JR松山駅下車。伊予鉄市内線乗車後（乗車時間5分）、南堀端下車。徒歩5分。

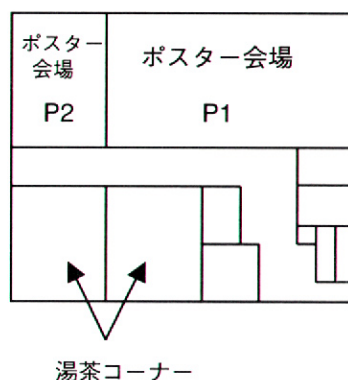
年会会場案内図（愛媛大学城北キャンパス）



年会会場（共通教育講義棟、5階部分省略）



ポスター会場（大学会館3階）



※大学会館3階は生協食堂の上です。

口頭セッション 9月25日(木)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	
	【星間】	【恒星】	【アマプロ連携】	【情報 / 銀河】	【南天の探求】	【宇宙論】		
10 : 00	Q01b - Q03b	N01a	B01a	X01a	A01a	U01a		
10 : 12	Q04b - Q06b	N02a		X02b - X04b		U02a		
10 : 24	Q07b - Q09b	N03a		R01a		U03b - U05b		
10 : 36	Q10a	N04a		R02a		U06b, U07b		
10 : 48	Q11a	N05b - N07b		R03a		U08a		
11 : 00	Q12a	N08b, N09b, N12b	B20a	R04a	A09b	U09a		
11 : 12	Q13a	N13b - N15b		R05a		U10a		
11 : 24	Q14a	N16a		R06a		U11a		
11 : 36	Q15a	N17a		R07a		U12a		
11 : 48	Q16a	N18a		R08a		U13a		
12 : 00						U14a		
12 : 00	昼休み							
13 : 00	ポスター							
	【星間】	【恒星】	【高密度天体】	【銀河】	【南天の探求】	【宇宙論 / 地上観】	【教育 / 天力 / 太陽系】	
14 : 00	Q17a	N19a	H01a	R09a	A10a	U15a	Y01a	
14 : 12	Q18a	N20a	H02a	R10a		U16a	Y02a	
14 : 24	Q19a	N21a	H03a	R11a		U17a	Y03b -Y05b	
14 : 36	Q20a	N22a	H04a	R12a		U18a	K01a	
14 : 48	Q21a	N23a	H05b - H07b	R14b - R16b		V01a	K02b, K03b	
15 : 00	Q22a	N24a	H08b - H10b	R17a	A21a	V02a	L01a	
15 : 12	Q23a	N25a	H15a	R18a		V03b - V05b	L02a	
15 : 24	Q24a	N26a	H16a	R19a		V06b - V08b	L03a	
15 : 36	Q25b - Q27b	N27a	H17a	R20a		V09b - V11b	L04a	
15 : 48	Q28b	N28a		R21a		V12b, V13b	L05a	
16 : 00							L06b, L07b	
16 : 00	学術会議特別セッション							
17 : 30	ALMA 特別セッション							

口頭セッション 9月26日(金)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【星間/星・惑星】	【恒星 / 太陽】	【高密度天体】	【銀河】	【銀河団】	【地上観】	【飛翔観】
09 : 30	Q29b - Q31b	N29a	H18a	R22a	T01a	V14a	W01a
09 : 42	Q32a	N30a	H19a	R23b - R25b	T02a	V15a	W02a
09 : 54	Q33a	N31a	H20a	R26a	T03a	V16a	W03a
10 : 06	P01a	N32b, N33b	H21a	R27a	T04a	V17a	W04a
10 : 18	P03b - P05b	M01a	H22a	R28a	T05a	V18a	W05b - W07b
10 : 30	P06b - P08b	M02a	H23b - H25b	R29a	T06a	V19a	W08a
10 : 42	P10b - P12b	M03b - M05b	H26a	R30b - R32b	T07b - T09b	V20a	W09a
10 : 54	P14b - P16b	M06b - M08b	H27a	R33b - R35b	T12a	V21b - V23b	W10b - W12b
11 : 06	P18b - P20b	M09b - M11b	H28b, H29b	R36b - R38b	T13a	V24b - V26b	W13b - W15b
11 : 18	P21b	M12b, M13b	H30a	R39b - R41b	T14b - T16b	V27a	W16b - W18b
11 : 30					T17b, T18b	V28b - V31b	
11 : 30	ポスター						
12 : 30	昼休み						
	【星・惑星】	【太陽】	【高密度天体】	【銀河】	【銀河団/銀河核】	【地上観】	【飛翔観】
13 : 30	P22b - P24b	M14a	H31a	R42a	T19a	V33a	W19b - W21b
13 : 42	P25b - P27b	M15a	H32a	R43a	T20a	V34a	W22b - W24b
13 : 54	P28a	M16a	H33a	R44a	T21a	V35b - V37b	W25b - W27b
14 : 06	P29a	M17a	H34a	R45a	T22a	V38b - V40b	W29a
14 : 18	P30a	M18a	H35a	R47a	T23a	V42b - V44b	W30a
14 : 30	P31a	M19a	H36b - H38b	R48a	S01b - S03b	V45b - V47b	W31a
14 : 42	P32a	M20a	H39b - H41b	R49a	S04b - S06b	V48b, V49b, V51b	W32b - W34b
14 : 54	P33a	M21a	H45b - H47b	R50b - R52b	S07b - S09b	V52b - V54b	W35b, W36b, W38b
15 : 06	P34a	M22a	H49b, H50b	R54a	S10b - S12b	V55b - V57b	W39b, W41b, W42b
15 : 18	P35a	M23a		R56a	S13b, S14b	V58b, V59b	W44b, W46b
15 : 30	天文教育フォーラム						
16 : 30	総会						
18 : 30	懇親会						

口頭セッション 9月27日(土)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【星・惑星】	【太陽】	【高密度天体】	【銀河】	【銀河核】	【地上観】	【飛翔観】
09:30	P36a	M24a	H51a	R57a	S15a	V65a	W47a
09:42	P37a	M25a	H52a	R58a	S16a	V66a	W48a
09:54	P38a	M26a	H53a	R59a	S17a	V67a	W49a
10:06	P39a	M27a	H54a	R60a	S18a	V68a	W50a
10:18	P40a	M28a	H55a	R61a	S19a	V69a	W51a
10:30	P41a	M29a	H56a	R62a	S20a	V70a	W52a
10:42	P42a	M30a	H57a	R63a	S21a	V71a	W53a
10:54	P43a	M31a	H58a	R64a	S22a	V72a	W54a
11:06	P44a	M32a	H59a	R65a	S23a	V73a	W55a
11:18	P45a	M33a	H60a	R66a	S26a	V74a	W56a
11:30			H61a	R67a			W57a
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
	【星・惑星】	【太陽】	【高密度天体】		【銀河核】	【地上観】	【飛翔観】
13:30	P46a	M34a	H62a		S27a	V75a	W58a
13:42	P47a	M35a	H63a		S28a	V76a	W59a
13:54	P48a	M36a	H64a		S29a	V77a	W60a
14:06	P49a	M37a	H65a		S30a	V78a	W61a
14:18	P50a	M38a	H66a		S31a	V79a	W62a
14:30	P51a	M39a	H67a		S32a	V80a	W63a
14:42	P52a	M40a	H68a		S33a	V81a	W64a
14:54	P53a	M41a	H69a		S34a	V82a	W65a
15:06	P54a		H70a		S35a	V83a	W66a
15:18	P55a		H71a		S36a	V84a	

ポスターセッション 9月25日(木) ～ 9月27日(土)

〈会場 P 1〉					V25b	V26b	V28b	V29b	V30b
【南天の探求】(8)					V31b	V32c	V35b	V36b	V37b
A05b	A09b	A14b	A15b	A16b	V38b	V39b	V40b	V41c	V42b
A17c	A20b	A22c			V43b	V44b	V45b	V46b	V47b
【アマプロ連携】(10)					V48b	V49b	V50c	V51b	V52b
B04b	B05b	B06b	B07b	B08b	V53b	V54b	V55b	V56b	V57b
B09c	B14b	B15b	B16b	B21c	V58b	V59b	V60c	V61c	V62c
【高密度天体】(30)					V63c	V64c			
H05b	H06b	H07b	H08b	H09b	【飛翔体観測機器】(37)				
H10b	H11c	H12c	H13c	H14c	W05b	W06b	W07b	W10b	W11b
H23b	H24b	H25b	H28b	H29b	W12b	W13b	W14b	W15b	W16b
H36b	H37b	H38b	H39b	H40b	W17b	W18b	W19b	W20b	W21b
H41b	H42c	H43c	H44c	H45b	W22b	W23b	W24b	W25b	W26b
H46b	H47b	H48c	H49b	H50b	W27b	W28c	W32b	W33b	W34b
【天体力学】(3)					W35b	W36b	W37c	W38b	W39b
K02b	K03b	K04c			W40c	W41b	W42b	W43c	W44b
【太陽系】(3)					W45c	W46b			
L06b	L07b	L08c			【教育】(5)				
【太陽】(11)					Y03b	Y04b	Y05b	Y06c	Y07c
M03b	M04b	M05b	M06b	M07b	【ジュニアセッション】				
M08b	M09b	M10b	M11b	M12b	【PDL】				
M13b					【最新情報コーナー】				
【恒星】(13)					〈会場 P 2〉				
N05b	N06b	N07b	N08b	N09b	【銀河】(25)				
N10c	N11c	N12b	N13b	N14b	R13c	R14b	R15b	R16b	R23b
N15b	N32b	N33b			R24b	R25b	R30b	R31b	R32b
【星・惑星形成】(26)					R33b	R34b	R35b	R36b	R37b
P02c	P03b	P04b	P05b	P06b	R38b	R39b	R40b	R41b	R46c
P07b	P08b	P09c	P10b	P11b	R50b	R51b	R52b	R53c	R55c
P12b	P13c	P14b	P15b	P16b	【活動銀河核】(16)				
P17c	P18b	P19b	P20b	P21b	S01b	S02b	S03b	S04b	S05b
P22b	P23b	P24b	P25b	P26b	S06b	S07b	S08b	S09b	S10b
P27b					S11b	S12b	S13b	S14b	S24c
【星間現象】(17)					S25c				
Q01b	Q02b	Q03b	Q04b	Q05b	【銀河団】(10)				
Q06b	Q07b	Q08b	Q09b	Q25b	T07b	T08b	T09b	T10c	T11c
Q26b	Q27b	Q28b	Q29b	Q30b	T14b	T15b	T16b	T17b	T18b
Q31b	Q34c				【宇宙論】(6)				
【地上観測機器】(52)					U03b	U04b	U05b	U06b	U07b
V03b	V04b	V05b	V06b	V07b	U19c				
V08b	V09b	V10b	V11b	V12b	【情報処理】(3)				
V13b	V21b	V22b	V23b	V24b	X02b	X03b	X04b		

A. 南天の探求

9月25日(木) 午前・E会場		9月25日(木) 午後・E会場	
10:00	A01a マゼラン雲の星形成と分子ガス 福井康雄 (名古屋大学)	14:00	A10a 南天での高エネルギーガンマ線観測 谷森 達 (京都大学)
10:25	A02a IRSF による大マゼラン雲 30Dor 領域の近赤外広域サーベイ 加藤大輔 (名古屋大学)	14:25	A11a NZ でのマイクロレンズ効果を利用した暗天体の探索 村木 綏 (名古屋大学)
10:37	A03a 星間ガスの大局-微細構造と大マゼラン雲 和田桂一 (国立天文台)	14:37	A12a ISO による Carina 領域の分光マッピング観測 岡田陽子 (東京大学)
10:49	A04a ASTRO-F による大マゼラン雲サーベイ/南天ディープサーベイ計画 和田武彦 (宇宙科学研究所)	14:49	A13a ASTE によるカリーナ星雲の CO(3-2)輝線観測 山口伸行 (国立天文台)
11:01	A05b ミラ型星の新しい周期光度系列の発見 板 由房 (東京大学)	15:01	A14b 新発見の変光星を含む球状星団赤色変光星サンプルの議論 松永典之 (東京大学)
11:05	A06a 銀河中心の高エネルギー活動 小山勝二 (京都大学)	15:01	A15b 近赤外線による巨大分子雲 Vela C の C ¹⁸ O clump サーベイ 馬場大介 (名古屋大学)
11:30	A07a IRSF/SIRIUS による銀河中心サーベイ 西山正吾 (名古屋大学)	15:01	A16b ASTE 小質量星形成領域観測プロジェクト 早川貴敬 (東京大学)
11:42	A08a 銀河系中心領域の観測研究：これまでとこれから 長谷川哲夫 (国立天文台)		A17c カリーナ星雲に付随するブライトリム天体の近赤外観測 仲野 誠 (大分大学)
11:54	A09b 今度は見えるブラックホール・南半球サブミリ波 VLBI 三好 真 (国立天文台)	15:13	A18a 南天における太陽系外惑星の観測 田村元秀 (国立天文台)
		15:38	A19a VLT によるカイパーベルト天体の可視光二色同時ライトカーブ 関口朋彦 (国立天文台)
		15:50	A20b 南米ペルーの通信衛星用の 32m アンテナを電波望遠鏡に転用 Ishitsuka, Jose (国立天文台)
		15:54	A21a ALMA (アルマ) 計画 川辺良平 (国立天文台)
			A22c 近赤外線掃天観測施設 IRSF の現状 永山貴宏 (名古屋大学)

B. アマチュアとプロの連携による天文学

9月25日(木) 午前・C会場			
10:00	B01a	太陽系天体におけるアマチュアとプロの連携 渡部潤一(国立天文台)	11:04 B12a 地の利を生かした岡山理科大学における取り組み 田辺健茲(岡山理科大学)
10:10	B02a	深宇宙探査機の地球スイングバイ時の光学観測 吉川 真(宇宙科学研究所)	11:12 B13a アマ・プロ連携によるSU UMa型矮新星QW Ser(= TmzV46)の発見 野上大作(京都大学)
10:18	B03a	流星痕をもっとよく見たい!—流星痕に振り回された幸運なアマチュア観測者の5年間— 戸田雅之(日本流星研究会)	11:18 B14b インターネット時代のお手軽ブローアマ共同観測—V838 Monの例 清田誠一郎(VSOLJ)
10:26	B04b	社会参加型研究時代の到来と理科教育への意義 山本真行(高知工科大学)	11:18 B15b 美星天文台でのアマチュア支援活動 綾仁一哉(美星天文台)
10:26	B05b	掩蔽観測の組織化と近年の成果 早水 勉(せんだい宇宙館)	11:18 B16b 兵庫県立西はりま天文台2m望遠鏡運用の新しい試み 黒田武彦(西はりま天文台)
10:26	B06b	メーリングリストを中心としたアマ・プロ協働への取り組み(小惑星のライトカーブ観測) 宮坂正大(東京都庁)	11:30 B17a 銀河系外天体におけるアマチュアとプロの連携 山岡 均(九州大学)
10:26	B07b	系外惑星トランジット観測ネットワークの提案 井田 茂(東京工業大学)	11:40 B18a ガンマ線バーストの追観測 鳥居研一(理化学研究所)
10:26	B08b	2004獅子座流星群に伴う月面衝突発光の観測に向けて 柳澤正久(電気通信大学)	11:50 B19a GRB030329のアマ・プロ国際共同観測の成果 植村 誠(京都大学)
	B09c	彗星の光度観測のアーカイブ化—ICQプロジェクトと日本のアマチュア 中村彰正(久万高原天体観測館)	11:58 B20a ガンマ線バースト光学閃光探査 大西浩次(長野高専)
10:46	B10a	銀河系内天体におけるアマチュアとプロの連携 加藤太一(京都大学)	B21c ガンマ線バーストの可視光閃光用観測システムの性能評価 恩田香織(東京理科大学)
10:56	B11a	Ama-Pro Liaisonの歴史—変光星を中心として 佐久間精一(VSOLJ)	

H. 高密度天体

9月25日(木) 午後・C会場			
14:00	H01a XTE J1550-564 の low-to-high 遷移におけるスペクトルと降着円盤の成長 久保田あや (宇宙科学研究所)		H14c 熱的輻射の磁氣的駆動降着円盤風 福江 純 (大阪教育大学)
14:12	H02a RXTE 衛星による XTE J1650-500 の X 線スペクトル解析 伊藤 健 (東京大学)	15:12	H15a 磁気流体移流優勢降着円盤から噴出する磁気タワージェット 加藤成晃 (京都大学)
14:24	H03a ブラックホール連星候補 4U1630-47 の X 線放射のハイステート 3 状態 阿部由紀子 (広島大学)	15:24	H16a X 線新星 XTE J1720-318 の IRSF/SIRIUS による近赤外線観測 長田哲也 (名古屋大学)
14:36	H04a NGC 253 銀河中の ULX のスペクトル発展 田中孝明 (宇宙科学研究所)	15:36	H17a 重力マイクロレンズ現象を利用したブラックホールの探索 倉田康雄 (名古屋大学)
14:48	H05b RXTE 衛星による GRS1915+105 の X 線観測 大川洋平 (立教大学)	9月26日(金) 午前・C会場	
14:48	H06b GRS1915+105 に対する Disk Model を考慮した再解析 園部芳雅 (千葉大学)	09:30	H18a マイクロクエイザー SS 433 の爆発的ジェット噴射 小谷太郎 (東京工業大学)
14:48	H07b ブラックホール近傍の円盤構造: モデルと数値実験結果の比較 II 町田真美 (国立天文台)	09:42	H19a SS 433 ジェットの吸収を利用した系周辺の物質分布の推定 並木雅章 (理化学研究所)
15:00	H08b 極光度 X 線天体 M82 X-1 の X 線スペクトル解析 松本浩典 (京都大学)	09:54	H20a X 線連星パルサー 4U0115+63 の X 線光度とサイクロトロン共鳴エネルギーの変化 (1) 中島基樹 (日本大学/理化学研究所)
15:00	H09b X 線で探る IGR J16318-4848 の性質 村上弘志 (宇宙科学研究所)	10:06	H21a X 線連星パルサー 4U0115+63 の X 線光度とサイクロトロン共鳴エネルギーの変化 (2) 二河久子 (東京大学)
15:00	H10b 銀河中心のブラックホールは重力レンズ現象で検出できるか? 米原厚憲 (筑波大学)	10:18	H22a XMM-Newton による The Mouse の X 線観測 森 英之 (宇宙科学研究所)
	H11c ブラックホール候補星の low/hard state におけるエネルギースペクトルの折れ曲がり 山岡和貴 (青山学院大学)	10:30	H23b RXTE 衛星による X 線パルサー AX J1820.5-1434 の追観測 幸村孝由 (工学院大学)
	H12c マイクロクエーサー GRO J1655-40 の光度曲線解析 小澤朋子 (大阪教育大学)	10:30	H24b X 線バーストにおける爆発的核合成過程と最終生成物への影響 黒水玲子 (九州大学)
	H13c 放射圧駆動降着円盤風の形状とスペクトル 折原志穂 (大阪教育大学)	10:30	H25b 高速回転する Strange Star/Hybrid Star の質量と半径 安武伸俊 (九州大学)

10:42	H26a 相対論的 MHD (Force-Free 近似) によるパルサーダイナミクス 浅野栄治 (千葉大学)	14:42	H39b 『すばる望遠鏡』による暗黒 GRB (GRB980329) の起源 浦田裕次 (理化学研究所 / 東京工業大学)
10:54	H27a パルサー極冠モデルにおける電場遮蔽 浅野勝晃 (大阪大学)	14:42	H40b 木曾観測所における GRB030329 の早期残光の観測 浦田裕次 (理化学研究所 / 東工大)
11:06	H28b かに星雲の新しい描像に向かって 柴田晋平 (山形大学)	14:42	H41b ぐんま天文台における GRB030329 の近赤外・可視光残光観測 西原英治 (ぐんま天文台)
11:06	H29b γ 線パルサーにおける 2 次元 Outer-Gap モデル (2) 高田順平 (山形大学)		H42c GRB 030329: 残光の発見と最早期の撮像観測 鳥居研一 (理化学研究所)
11:18	H30a X 線連星 XTE J042+560/CI Cam のコンパクト天体は白色矮星か? 森尾一徹 (学習院大学 / 宇宙科学研究所)		H43c 宮崎大学における RIMOTS を用いた GRB030329 の観測 坂元かほり (宮崎大学)
9 月 26 日 (金) 午後・C 会場			
13:30	H31a 新星爆発の「穴だらけモデル」 加藤万里子 (慶応大学)		H44c GRB030329 の電波残光観測 久野成夫 (国立天文台)
13:42	H32a 食のある SU UMa 型矮新星 OU Vir のスーパーアウトバースト 石岡涼子 (京都大学)	14:54	H45b 回転星の崩壊によるガンマ線バーストの一般相対論的 MHD シミュレーション 3 水野陽介 (京都大学)
13:54	H33a スーパーハンプ光度曲線による降着円盤のヘリカル・トモグラフィー 尾崎洋二 (長崎大学)	14:54	H46b 超臨界降着円盤モデルにおける元素合成 松葉龍一 (熊本大学)
14:06	H34a WZ Sge 型矮新星の early hump の数値シミュレーション 前原裕之 (東京大学)	14:54	H47b 強い輻射場による光電離プラズマの時間的发展について 杉山慎也 (大阪大学)
14:18	H35a 超軟 X 線源 V Sge の謎を解く 蜂巢 泉 (東京大学)		H48c ガンマ線バーストに付随した降着円盤の化学組成 藤本信一郎 (熊本電波高専)
14:30	H36b SU UMa 型矮新星 GO Com のスーパーアウトバースト 今田 明 (京都大学)	15:06	H49b 高エントロピー下における r-process 元素合成の核データ依存性 西村 直 (九州大学)
14:30	H37b HETE-2 衛星による X 線バーストの観測 (2) 山崎 徹 (青山学院大学)	15:06	H50b Reaction Sensitivity of Heavy Element Production and Its Dependence on the Dynamical Condition of SN Explosion 佐々木孝浩 (東京大学)
14:30	H38b すばる望遠鏡 FOCAS による SN 2003dh/GRB 030329 の偏光分光観測 川端弘治 (国立天文台)		

9月27日(土) 午前・C会場		9月27日(土) 午後・C会場	
09:30	H51a HETE 2 衛星の観測運用状況 — 2003 年春から現在まで 河合誠之 (東京工業大学)	13:30	H62a 種族 III の巨大質量星の進化と爆発 大久保琢也 (東京大学)
09:42	H52a HETE-2 衛星による、X 線過剰ガンマ線バーストの観測 坂本貴紀 (東京工業大学)	13:42	H63a カシオペア A におけるチタン 44 のイオン化と元素生成 望月優子 (理化学研究所)
09:54	H53a HETE-2 によるガンマ線バーストの spectral lag の解析 鈴木素子 (東京工業大学)	13:54	H64a 超新星爆発による炭素/酸素層の加速と軽元素合成 中村 航 (東京大学)
10:06	H54a HETE-2 衛星による GRB030328 の観測 吉田篤正 (青山学院大学)	14:06	H65a 超新星爆発時の C, N, Al, Si, Ti 同位体比と超新星起源プレソラーグレイン 吉田 敬 (東京大学)
10:18	H55a HETE-2 による GRB030329 の観測 玉川 徹 (理化学研究所)	14:18	H66a 超新星爆発に至る鉄コア爆縮の 3 次元 MHD シミュレーション 佐藤裕司 (名古屋大学/千葉大学)
10:30	H56a Chandra Deep Field 中の X 線変動天体の調査と GRB 残光識別への応用 山本佳久 (東京工業大学)	14:30	H67a 水素輝線を示す Ia 型超新星 SN2002ic の星周物質相互作用モデル 上西達大 (東京大学)
10:42	H57a GRB030329 東工大屋上での残光観測 - 世界最初の検出 - 佐藤理江 (東京工業大学)	14:42	H68a 相対論的状態方程式と重力崩壊型超新星爆発 住吉光介 (沼津工業高等専門学校)
10:54	H58a Cosmic dispersion measure from gamma-ray burst afterglows 井岡邦仁 (大阪大学)	14:54	H69a 回転する重力崩壊型超新星の定在衝撃波 山崎達哉 (京都大学)
11:06	H59a ガンマ線バーストからの円偏光 松宮 慎 (大阪大学)	15:06	H70a 超新星ニュートリノ振動とニュートリノの磁気モーメント 安藤真一郎 (東京大学)
11:18	H60a GRB 980425 は典型的なガンマ線バーストか? 山崎 了 (京都大学)	15:18	H71a Effects of Rotation on Neutrino Heatings in Collapse-Driven Supernovae 固武 慶 (東京大学)
11:30	H61a GRB030329 に付随した SN2003dh の極超新星モデル 富永 望 (東京大学)		

K. 天体力学

9月25日(木) 午後・G会場	
14:36	K01a 近点運動による太陽系外惑星系の安定性 木下 宙(国立天文台)
14:48	K02b 古在共鳴外縁部にある小惑星の軌道 中井 宏(国立天文台)
14:48	K03b 軌道運動の分割対称多段法による数値積分 山本一登(総合研究大学院大学)
	K04c Gabor関数を用いた短時間Periodogramと自由コア章動の周期変化解析への応用 白井俊道 (Goldman Sachs (Japan) Ltd.)

L. 太陽系

9月25日(木) 午後・G会場	
15:00	L01a 2001/2002年のビデオカメラを用いたflux比較 菅谷多都子(東京学芸大学)
15:12	L02a 彗星分子のオルソ/パラ比は何によって決まるか? 河北秀世(ぐんま天文台)
15:24	L03a Amalthea (JV) のLバンドスペクトル 高遠徳尚(国立天文台)
15:36	L04a カイパーベルト天体の軌道分布に残るガス抵抗の影響 小林 浩(東京工業大学)
15:48	L05a 連星(617) Patroclusの光度曲線 福田詩郎(電気通信大学)
16:00	L06b カリン族小惑星の光度曲線観測 吉田二美(国立天文台)
16:00	L07b 金星の三雲層モデル 佐藤靖彦(東京理科大学)
	L08c 流星の自動観測システムの開発と2002年しし座流星群の観測 稲田憲哉(宮崎大学)

M. 太陽

9月26日(金) 午前・B会場		9月26日(金) 午後・B会場	
10:18	M01a 飛騨天文台に新設された太陽磁場活動望遠鏡 (SMART) の概要 黒河宏全 (京都大学)	11:18	M12b 活動領域 NOAA0362 で発生したフレアの Hel 10830 および SiII 10827 スペクトル 當村一朗 (大阪府立高専)
10:30	M02a フィルタグラフによる磁場測定精度についての考察 (新望遠鏡 SMART において) 上野 悟 (京都大学)	11:18	M13b 速い衝撃波、及び、遅い衝撃波列によるコロナ加熱と太陽風加速 鈴木 建 (京都大学)
10:42	M03b 京都大学 飛騨天文台 太陽磁場活動望遠鏡 (SMART) による観測計画 石井貴子 (京都大学)	13:30	M14a 放射冷却を含む太陽における浮上磁場の MHD シミュレーション 野澤 恵 (茨城大学)
10:42	M04b 太陽コロナにおける磁気ヘリシティ入射を如何に測定すべきか? 草野完也 (広島大学)	13:42	M15a CIP 法による太陽浮上磁場シミュレーション 2: 長時間計算 高橋邦生 (茨城大学)
10:42	M05b Structure Of A Magnetic Flux Rope Liu, Yu (Kyoto University)	13:54	M16a 磁気対流と浮上磁場の 3 次元 MHD 数値計算 磯部洋明 (京都大学)
10:54	M06b Wavelet 解析による黒点と極域白斑の位相関係 萩野正興 (国立天文台)	14:06	M17a 磁気ヘリシティ入射とシグモイドループについて 山本哲也 (東京大学/国立天文台)
10:54	M07b フィラメントを持つ太陽コロナ磁場の安定性に関する数値シミュレーション研究 井上 諭 (広島大学)	14:18	M18a 暗部、半暗部境界に足下を持つ低温コロナループとその形成メカニズム 勝川行雄 (東京大学)
10:54	M08b ようこう SXT によるフレアのエネルギー測定: 数値シミュレーションによるモデリング 磯部洋明 (京都大学)	14:30	M19a Stokes profile からの磁場を求める新方法 牧田 貢 (京都大学)
11:06	M09b コロナ中磁気ループ振動の理論的研究・ブライトニング (高密) ループの効果について 宮腰剛広 (京都大学)	14:42	M20a 太陽風の温度分布: 低密度では電子圧は $n_e k T_e$ ではない 平山 淳 (明星大学)
11:06	M10b 自由な空間での磁気リコネクションにおけるエネルギー変換率 新田伸也 (総合研究大学院大学)	14:54	M21a 密度成層を考慮したコロナ質量放出の電磁流体モデル 塩田大幸 (京都大学)
11:06	M11b The Proper Motion of Sunspots and Its Relation to Flare Onset Yatini, Clara (LAPAN)	15:06	M22a CME の発生に関連した太陽コロナ現象 並木優子 (茨城大学)
		15:18	M23a 惑星間空間における CME の三次元特性 徳丸宗利 (名古屋大学)

9月27日(土) 午前・B会場		9月27日(土) 午後・B会場	
09:30	M24a 太陽内部の自転速度遷移層での水素分布と混合過程 柴橋博資 (東京大学)	13:30	M34a 太陽フレアで観測された inflow を用いる reconnection rate の統計解析 成影典之 (京都大学)
09:42	M25a 太陽深部の自転の逆問題における低次モードの影響 関井 隆 (国立天文台)	13:42	M35a 磁気リコネクションに伴う、フレアループ上空の下降流 浅井 歩 (京都大学)
09:54	M26a 回転球殻対流ダイナモにおける双極子磁場反転機構のシミュレーション研究 西川憲明 (広島大学)	13:54	M36a Evolution of flare kernels observed with Hida/DST and SOHO/CDS 神尾 精 (京都大学)
10:06	M27a Short duration active region brightenings observed in the EUV and $H\alpha$ by SOHO/CDS and HIDA/DST Brooks, D. H. (京都大学)	14:06	M37a 有限振幅擾乱影響下での磁気リコネクションの3次元シミュレーション 横山央明 (東京大学)
10:18	M28a 彩層下部にみられる太陽フレアの予兆現象 斉藤祥行 (京都大学)	14:18	M38a 磁気ヘリシティ対消滅モデルに基づくフレア発生の数値シミュレーション 草野完也 (広島大学)
10:30	M29a プリフレアとフレアにおける温度と密度 渡邊鉄哉 (国立天文台)	14:30	M39a ハードなフレアと浮上磁場の相関 大山真満 (滋賀大学)
10:42	M30a An Energy Build-up Process for Homologous Flares using a Homologous Flare Series Observed in NOAA10314 Satoshi Morita (NRC/NASA/GSFC)	14:42	M40a 太陽フレアで加速された粒子のエネルギースペクトルの推定 古徳純一 (東京大学/理研)
10:54	M31a プロミネンスの準崩壊とフレア 柴崎清登 (国立天文台)	14:54	M41a 空間分解された電波スペクトル分布と粒子加速 高崎宏之 (京都大学)
11:06	M32a EIT wave は $H\alpha$ 観測においてどのように見えるか 岡本文典 (京都大学)		
11:18	M33a プロミネンスの上昇と加熱 下条圭美 (国立天文台)		

N. 恒星

9月25日(木) 午前・B会場			
10:00	N01a 中心星の回転との非線形共鳴で励起される円盤の kHz QPO s 加藤正二 (奈良産業大学)	11:00	N12b OAO/HIDES を利用した C P 2 星の分光解析 (I) 西村昌能 (洛東高校)
10:12	N02a 3D SPH simulations of the accretion flow around the neutron star in Be/X-ray binaries 早崎公威 (北海道大学)	11:12	N13b Wolf-Rayet 星の近赤外輝線プロファイル 西巻祐一郎 (東京大学)
10:24	N03a Mass-Capture Rate by the Neutron Star in Be/X-Ray Binaries 岡崎敦男 (北海学園大工)	11:12	N14b F-G 型超巨星の 0.9-2.4 μ m スペクトルアトラス Ahmatjan Letip (東京大学)
10:36	N04a 近接連星系における伴星の表面層のガスの運動 III—超軟 X 線源 RX J0019.8+2156 への応用— 岡 和孝 (神戸大学)	11:12	N15b 連星系の星 HD 219542 A および B の差分組成解析 定金晃三 (大阪教育大学)
10:48	N05b Chandra 衛星による Massive Wolf-Rayet Binary WR140 の X 線観測 伊藤邦夫 (中央大学)	11:24	N16a MOA グループのデータによる transit イベントの探索 古田善工 (名古屋大学)
10:48	N06b 銀河面の Chandra 深観測で検出された硬 X 線点源の赤外追観測とその正体 辻本匡弘 (ペンシルバニア州立大学)	11:36	N17a オリオン座・一角獣座星形成領域における近赤外での変光観測 日下部展彦 (東京学芸大学)
10:48	N07b Tau Sco のラインスペクトルの解析 山本則正 (立教大学)	11:48	N18a 第二世代の小質量星の進化 岩本信之 (東京大学)
11:00	N08b Chandara 衛星を用いた早期型星の X 線放射機構の研究 高野晴子 (立教大学)	9月25日(木) 午後・B会場	
11:00	N09b マイクロクエーサーのスペクトル進化: 電子散乱の効果 渡会兼也 (京都大学)	14:00	N19a 新星起源のプレソーラーグレインは本当に新星起源か? 寺澤真理子 (東京大学)
	N10c 異常小質量連星候補系 VV UMa の測光観測 脇 義文 (西はりま天文台公園友の会)	14:12	N20a 超新星 r 過程元素合成における原子核質量モデルの影響 和南城伸也 (上智大学)
	N11c アルゴル型連星系 RZ Cas の H α プロファイル ~ 観測とモデル ~ 鳴沢真也 (西はりま天文台)	14:24	N21a 金属欠乏星の化学組成が示す r 過程の二つの起源 石丸友里 (お茶の水女子大学)
		14:36	N22a OAO HIDES による金属欠乏星の組成解析 (III): 微小乱流と鉄組成 齋藤雄二 (東海大学)

14:48	N23a OAO HIDES による金属欠乏星の組成解析 (IV): 硫黄の NLTE 組成 比田井昌英 (東海大学)	
15:00	N24a すばる/HDS による金属欠乏星のユーロピウム同位体組成解析 青木和光 (国立天文台)	
15:12	N25a 超金属欠乏星 HE0107-5240 は primordial star か? (2) 須田拓馬 (北海道大学)	
15:24	N26a “M 型” 赤外線星に対する SiO メーザー探査 衛藤芳郎 (明星大学)	
15:36	N27a 晩期型星 S Per の水メーザーの観測: 年周視差による距離決定 朝木義晴 (宇宙科学研究所)	
15:48	N28a 光学域におけるうみへび座 U 星の広がったダストシェルの検出 泉浦秀行 (国立天文台)	
9 月 26 日 (金) 午前・B 会場		
09:30	N29a 恒星表相互比較による等級データの検証 藤原智子 (京都産業大学)	
09:42	N30a 古文獻における恒星の等級システムー Pogson の式との対比ー 大島綾子 (京都産業大学)	
09:54	N31a 球状星団の網羅的観測による近赤外線色等級図サンプル 中田好一 (東京大学)	
10:06	N32b 鹿児島大学 1m 光・赤外線望遠鏡による AGB 星の可視光モニター観測 I 藤井高宏 (国立天文台)	
10:06	N33b Asymmetrical surface brightness distribution of Altair observed with the Navy Prototype Optical Interferometer 大石奈緒子 (国立天文台)	

P. 星・惑星形成

9月26日(金) 午前・A会場			
10:06	P01a 宇宙の第一世代星形成における磁場の散逸 牧 秀樹 (立教大学)		P13c すばる CIAO+AO による HL Tau の観測 田村元秀 (国立天文台)
	P02c 3次元自己重力 MHD 数値実験による分子雲圧縮層の研究 梅川通久 (京都大学)	10:54	P14b 惑星を持つ恒星の自転速度の傾向 浦川聖太郎 (神戸大学)
10:18	P03b ガス雲の重力収縮に対する初期密度分布の影響 釣部 通 (大阪大学)	10:54	P15b 原始星 HH100-IRS の低質量伴星、及び、outflow に付随した連続光 knot 根建 航 (東京大学/国立天文台)
10:18	P04b 分子雲コアの分裂を誘発するディスクとバーの形成 町田正博 (国立天文台)	10:54	P16b すばる望遠鏡 HDS による HH46/47 ジェットの速度場の観測 西川貴行 (東京理科大学)
10:18	P05b 連星周りのガス円盤がもつ軌道離心率 今枝佑輔 (千葉大学)		P17c Circumstellar matter distribution around massive young stellar objects 藤吉拓哉 (国立天文台)
10:30	P06b 非等方散乱を考慮した星周円盤の輻射平衡計算: ダストサイズの推定を目指して 林 和樹 (東京大学)	11:06	P18b VERA による Orion KL 領域の水メーザー観測 廣田朋也 (国立天文台)
10:30	P07b 周連星円盤における微惑星集積 森脇一匡 (神戸大学)	11:06	P19b VERA による W51M の観測 官谷幸利 (国立天文台)
10:30	P08b コンドライト隕石中のコンドリュール含有割合と平均サイズの関係: 衝撃波加熱モデルによる解釈 三浦 均 (筑波大学)	11:06	P20b 大質量星形成領域での Class II メタノールメーザーのサーベイ 梅本智文 (国立天文台)
	P09c 高速気流中の液滴の安定性解析 加藤貴昭 (筑波大学)	11:18	P21b ASTRO-F による星形成/惑星系形成に関する観測計画 上野宗孝 (東京大学)
10:42	P10b Herbig Be 型星 AFGL490 のコロナグラフ観測 丸井和子 (神戸大学)	9月26日(金) 午後・A会場	
10:42	P11b 古典的 T タウリ型星 DO Tau の近赤外コロナグラフ観測 伊藤洋一 (神戸大学)	13:30	P22b AFGL2591 system の中間赤外線分光観測 本田充彦 (東京大学)
10:42	P12b T Tauri 型星 IP Tau の近赤外コロナグラフ撮像観測 石井未来 (国立天文台)	13:30	P23b 大質量星形成領域 HH80/81 領域の近赤外撮像観測 松柳育子 (神戸大学)
		13:30	P24b りゅうこつ腕における高密度分子ガス塊の H^{13}CO^+ (1-0) 輝線観測 米倉覚則 (大阪府立大学)

13:42	P25b Chandra による Open Cluster Trumpler37 の観測データの解析 横山裕士 (中央大学)	9 月 27 日 (土) 午前・A 会場	
13:42	P26b 星形成領域 S106 におけるチャンドラ X 線源の特性 坪井陽子 (中央大学)	09:30	P36a 小質量星の形成過程について：新標準モデル構築に向けて 中村文隆 (新潟大学)
13:42	P27b Newton-XMM 衛星による OMC2/3 領域の X 線観測 鬼形 愛 (中央大学)	09:42	P37a First Core の重力崩壊と回転平衡ガスリングの形成 西合一矢 (国立天文台)
13:54	P28a Chandra 衛星による NGC 6334 における広がった X 線放射の検証 江副祐一郎 (東京大学)	09:54	P38a 主星と伴星の質量降着率：質量比 q への依存性 越智康浩 (千葉大学 / 名古屋大学)
14:06	P29a 系内星生成領域における NH_3 ortho/para 比異常の探査 糠塚淳一 (千葉大学)	10:06	P39a 星周円盤は磁場に垂直か？ 松本倫明 (法政大学 / 国立天文台)
14:18	P30a AFGL 333 領域にある活発な星形成を伴わない大質量分子雲コアの性質 酒井 剛 (東京大学)	10:18	P40a おうし座分子雲中の原始星の性質 1：First Results 中里 剛 (国立天文台)
14:30	P31a おうし座分子雲コアの N_2H^+ 観測：星形成の始動条件を探る 立松健一 (国立天文台)	10:30	P41a NGC1333 領域 IRAS4 の野辺山 RAINBOW による 100GHz, 150GHz 帯観測とその解析 田邊大介 (千葉大学)
14:42	P32a BEARS Star Formation project: Orion 分子雲の $\text{H}^{13}\text{CO}^+(J=1-0)$ 観測 池田紀夫 (東京工業大学)	10:42	P42a 中間赤外線シルエットサイズ 酒向重行 (東京大学)
14:54	P33a BEARS Star Formation Project - 牡牛座分子雲中の高密度コア 砂田和良 (国立天文台)	10:54	P43a オリオン・プロプリッド星周円盤における沈殿現象 山下卓也 (国立天文台)
15:06	P34a 複数輝線を用いた L1551 分子雲のマッピング観測—分子雲散逸過程の理解を目指して— 北村良実 (宇宙科学研究所)	11:06	P44a すばる AO+IRCS を用いたエッジオン星周円盤の近赤外線撮像分光観測 寺田 宏 (国立天文台)
15:18	P35a オリオン KL 領域における SiO ($v=0, J=3-2/2-1$) の高分解能観測 高橋智子 (茨城大学)	11:18	P45a すばる望遠鏡による T Tauri の近赤外コロナグラフ撮像観測 眞山 聡 (早稲田大学)

9月27日(土) 午後・A会場		
13:30	P46a ダスト成長による原始惑星系円盤のSEDの進化 田中秀和(東京工業大学)	14:30 P51a 巨大ガス惑星の形成：重元素の効果 生駒大洋(東京工業大学)
13:42	P47a 原始惑星系円盤の塵層における shear 不安定性：密度分布による違い 石津尚喜(国立天文台)	14:42 P52a 光学的に薄い原始惑星系円盤と惑星の重力相互作用 伊東真史(東京工業大学)
13:54	P48a 連星系における微惑星のダイナミクス 小久保英一郎(国立天文台)	14:54 P53a 系外惑星の質量・軌道半径分布の理論モデル — “Planet Desert” の予測 井田 茂(東京工業大学)
14:06	P49a 惑星による微惑星の散乱と集積 2 樋口有理可(神戸大学/国立天文台)	15:06 P54a A Planetary Companion to the G-type Giant Star HD 104985 佐藤文衛(国立天文台)
14:18	P50a 原始惑星系円盤との重力相互作用を考慮した原始惑星形成 小南淳子(東京工業大学)	15:18 P55a 系外地球型惑星の自転軸傾斜角変動 跡部恵子(東京工業大学)

Q. 星間現象

9月25日(木) 午前・A会場		
10:00	Q01b 銀河系中心の動力学と高密度分子雲クランプ 澤田剛士(国立天文台)	10:24 Q07b 実験室赤外線高分散分光装置 Jet-ProtolRHS の開発 平林慎一(名古屋大学)
10:00	Q02b 銀河中心 Arcに関連する分子雲 G0.12-0.11 での強い衝撃波の兆候 半田利弘(東京大学)	10:24 Q08b IRSF と SIRIUS による、近傍分子雲の近赤外測光観測：分子雲中の赤化則 直井隆浩(東京大学)
10:00	Q03b 「なんてん」銀河面サーベイによる分子雲の分布とその物理量について 前田普教(名古屋大学)	10:24 Q09b 高銀緯分子雲 MBM 11 の分子雲形成領域における速度構造と C I/CO 比 高橋順子(明治学院大学)
10:12	Q04b 銀河系外縁部の高密度ガス分布 - ^{13}CO 観測 中川真規(名古屋大学)	10:36 Q10a 富士山頂サブミリ波望遠鏡による暗黒星雲 B335 の C I マッピング観測 伊藤哲也(東京大学)
10:12	Q05b 遠赤外線線球望遠鏡(FIRBE)を用いたカリナ領域の観測 桜井正昭(名古屋大学)	10:48 Q11a 光解離領域での C I 存在量に対する時間依存の効果 久保井信行(東京大学)
10:12	Q06b ASTE によるふたご座 S254-S257 領域の ^{12}CO $J=3-2$ マッピング観測 酒井 剛(東京大学)	11:00 Q12a オリオン巨大分子雲の遠赤外線広域マッピング観測 有村成功(名古屋大学)

11:12	Q13a IRTS の中間赤外線観測に基づく未同定赤外 (UIR) バンドの研究 左近 樹 (東京大学)	15:24	Q24a 宇宙線の効果を入れたパーカー不安定性の2次元MHD数値実験 桑原匠史 (台湾国立中央大学)
11:24	Q14a 結晶質メリライト固溶体の赤外スペクトル 茅原弘毅 (大阪大学/京都薬大)	15:36	Q25b 宇宙線の効果を入れたパーカー・ジーンズ不安定性の線形解析 桑原匠史 (台湾国立中央大学)
11:36	Q15a 低温でのolivine 微粒子の遠赤外スペクトル 小池千代枝 (京都薬科大学)	15:36	Q26b 超新星残骸 W28 北東部シェル構造のX線観測 植野 優 (京都大学)
11:48	Q16a X線吸収線による高温星間物質の研究 二元和朗 (宇宙科学研究所)	15:36	Q27b X線天文衛星 <i>Chandra</i> による歴史的超新星残骸の詳細観測 馬場 彩 (京都大学)
9月25日(木) 午後・A会場		15:48	Q28b 星間磁場中における超新星残骸の長期的な進化と構造形成 花山秀和 (東京大学)
14:00	Q17a 銀河面サーベイデータを用いたSNR-分子雲相互作用の系統的研究 森口義明 (名古屋大学)	9月26日(金) 午前・A会場	
14:12	Q18a XMM-Newton による超新星残骸 G156.2+5.7 の観測 山口弘悦 (京都大学)	09:30	Q29b 吸収線の線幅から探る $\text{Ly}\alpha$ cloud の物理状態 織田岳志 (京都大学)
14:24	Q19a XMM-Newton および <i>Chandra</i> 衛星による超新星残骸候補 G359.8-0.3 の観測 千田篤史 (京都大学)	09:30	Q30b 再電離以前の原始銀河のスペクトルにおける非球対称膨張の効果 小林正和 (京都大学)
14:36	Q20a ニュートン衛星によるペラ超新星残骸の破片 D の観測 勝田 哲 (大阪大学)	09:30	Q31b HII 領域 M16 における分子雲の爆縮の検出 福田尚也 (岡山理科大学)
14:48	Q21a XMM-Newton 衛星による超新星残骸 RX J1713.7-3946 の観測 平賀純子 (宇宙科学研究所)	09:42	Q32a 独立して形成した複数の星団から探る星間物質の大域進化 釜谷秀幸 (京都大学)
15:00	Q22a <i>Chandra</i> 衛星による 超新星残骸 RCW89 とパルサー風の相互作用の観測 谷津陽一 (東京工業大学)	09:54	Q33a 磁気乱流の減衰率: 初期エネルギーと波長への依存性 杉本香菜子 (名古屋大学/千葉大学)
15:12	Q23a 非等方熱伝導の効果を取り入れた超新星残骸の進化 富阪幸治 (国立天文台)		Q34c 輻射流体力学におけるゆらぎの解析 兼古 昇 (北海道大学)

R. 銀河

9月25日(木) 午前・D会場			
10:24	R01a SSA22 $z=3.1$ 原始銀河団とその周辺領域のひろがった $\text{Ly}\alpha$ 輝線天体 松田有一 (国立天文台/東北大学)	14:36	R12a Subaru/XMM-Newton Deep Survey (SXDS) results from the first data release 高田唯史 (国立天文台)
10:36	R02a SSA22 $z=3.1$ $\text{Ly}\alpha$ emitters 大規模構造の二体相関 田村 一 (東北大学)		R13c Subaru XMM/Newton Deep Survey 領域の近赤外撮像観測 高田唯史 (国立天文台)
10:48	R03a SSA22 $z=3.1$ ライマンブレイク銀河の $\text{Ly}\alpha$ ハロー 林野友紀 (東北大学)	14:48	R14b Subaru XMM/Newton Deep Survey 領域における $z \sim 1$ 銀河の構造と種族 山田 亨 (国立天文台)
11:00	R04a ライマン α 輝線から探る星形成史 安食 優 (東北大学)	14:48	R15b すばるディープフィールドで検出された2600個の銀河に基づく遠方銀河の統一的理解 大内正己 (東京大学)
11:12	R05a Optical Spectroscopy of Lyman Break Galaxies at $z \sim 5$ 安東正隆 (京都大学)		R16b 補償光学を用いた Subaru Deep Field の近赤外高分解深撮像II 美濃和陽典 (東京大学)
11:24	R06a Subaru XMM Deep Survey 領域における明るい Lyman Break 銀河 山田 亨 (国立天文台)	15:00	R17a ASTRO-F による北黄極領域の銀河ディープサーベイ計画 松原英雄 (宇宙科学研究所)
11:36	R07a $z>6$ クェーサーの FeII/MgII 輝線比 岩室史英 (京都大学)	15:12	R18a 様々な初期条件からの第一世代星形成過程と水素分子輝線 水澤広美 (新潟大学)
11:48	R08a 高赤方偏移クェーサー母銀河と銀河形成 松尾匡史 (日本大学)	15:24	R19a 原始銀河からの水素分子輝線の観測可能性 大向一行 (国立天文台)
9月25日(木) 午後・D会場		15:36	R20a 銀河ハローにおける種族IIIの小質量星形成の可能性 西 亮一 (新潟大学)
14:00	R09a 赤外線高分散観測による高赤方偏移 QSO 吸収線系の研究 (I) APM08279+5255 小林尚人 (東京大学)	15:48	R21a 低金属量銀河の星形成モード 平下博之 (名古屋大学)
14:12	R10a すばる補償光学による高赤方偏移 Damped Lyman- α system の撮像探査 美濃和陽典 (東京大学)		
14:24	R11a 銀河の星質量関数の進化 佐藤康則 (東京大学)		

9月26日(金) 午前・D会場			
09:30	R22a 紫外線背景輻射の強度変化と宇宙再電離過程 廣居久美子(筑波大学)	10:42	R32b Peculiar Velocities of the Galaxies beyond the Local Void. II. 岩田 生(京都大学)
09:42	R23b 原始ガスクランプでのHD形成に対するダストの影響 南野公彦(京都大学)	10:54	R33b Nobeyama CO atlas of Virgo cluster galaxies 中西裕之(東京大学)
09:42	R24b 超新星爆発による星間雲の圧縮・破壊過程について 金山隆晴(新潟大学)	10:54	R34b Nobeyama CO Atlas of Nearby Spiral Galaxies I. M101 久野成夫(国立天文台)
09:42	R25b FLUCTUATION OF THE SUBMM BACKGROUND FROM FORMING GALAXIES 榎 基宏(国立天文台)	10:54	R35b Nobeyama CO Atlas of Nearby Spiral Galaxies II. IC342 佐藤奈穂子(北海道大学)
09:54	R26a 宇宙初期に存在するダストII:ダストの形成・破壊とその存在量 野沢 貴也(北海道大学)	11:06	R36b 楕円銀河中の明るいX線点源の解析 右田雄二(広島大学)
10:06	R27a ダストの輻射輸送をふくむN-body銀河進化モデルの構築 伊吹山秋彦(東京大学/国立天文台)	11:06	R37b Chandra 衛星によるスターバースト銀河の硬X線成分の系統的研究 平家憲(愛媛大学)
10:18	R28a ダストの輻射輸送をふくむN-body銀河進化モデルをもちいた $z=1\sim 2$ での宇宙の星形成率 小野寺仁人(東京大学/国立天文台)	11:06	R38b ミリ波におけるSagittarius A* のフレア IV 宮崎敦史(国立天文台)
10:30	R29a 銀河間ガスの熱史から探る銀河間ダスト 井上昭雄(京都大学)	11:18	R39b 星の運動情報を加味した銀河系モデルの構築 上田誠治(総合研究大学院大学)
10:42	R30b 質量光度比に見るバルジ、楕円銀河、Brightest Cluster Memberの関係 吉岡 努(名古屋大学)	11:18	R40b 銀河定数 R_0 、 Θ_0 の推定II 須田浩志(東京大学)
10:42	R31b Extended Fluctuation Analysis for the Estimation of the Galaxy Evolution from the Cosmic Background Radiation 竹内 努(国立天文台)	11:18	R41b 渦巻銀河におけるパターン速度の決定法 江草美実(東京大学)
		9月26日(金) 午後・D会場	
		13:30	R42a The Origin of E+A Galaxies 後藤友嗣(東京大学)
		13:42	R43a 中間赤方偏移銀河団のE+A銀河とInitial Mass Function 塩谷泰広(東北大学)

13:54	R44a バルジの形状評価と SDSS 銀河への応用 神川えりか (東北大学)	9月27日(土) 午前・D会場	
14:06	R45a 矮小不規則銀河 Leo A の Suprime-Cam (すばる) 観測 長谷川 隆 (ぐんま天文台)	09:30	R57a 超新星爆発による星形成の連鎖による化学進化を考慮した銀河進化モデル 中里直人 (東京大学)
	R46c 近傍孤立銀河周辺部の矮小銀河探索 II 西浦慎悟 (東京大学)	09:42	R58a 階層的銀河形成過程に於ける化学進化と Ia 型超新星: 銀河系の場合 長島雅裕 (Durham 大学)
14:18	R47a 射手座矮小楕円銀河潮汐流内の星からの一酸化珪素レーザーの検出 出口修至 (国立天文台)	09:54	R59a 電波銀河 3C31 のシリエットディスクの CO 高分解能観測 奥田武志 (東京大学)
14:30	R48a 矮小楕円銀河から ω センタウリへ 出田 誠 (東京大学)	10:06	R60a CfA、12 μ m サンプル 2 型セイファート銀河の中心核スターバースト 今西昌俊 (国立天文台)
14:42	R49a 銀河潮汐場中の球状星団の寿命 高橋広治 (埼玉工業大学)	10:18	R61a Chandra 衛星によるスターバースト銀河 NGC2146 の X 線観測 乾 達也 (京都大学)
14:54	R50b GRAPE5 による球状星団 ω Cen 起源となる矮小銀河の動力学進化 水谷有宏 (総合研究大学院大学)	10:30	R62a XMM-Newton 衛星による M33 中心領域のディフューズ X 線放射の観測 高橋弘充 (東京大学)
14:54	R51b 円盤銀河における球状星団系の形成と進化 坂本 強 (総合研究大学院大学)	10:42	R63a Newton 衛星による銀河系バルジ領域の広がった熱的 X 線放射の観測 岡田 祐 (東京大学)
14:54	R52b 近傍の渦状銀河の Nuclear Star Clusters の統計的研究 隈井泰樹 (熊本学園大学)	10:54	R64a 円盤銀河中の巨大ブラックホールはなぜ小さいのか? 川勝 望 (筑波大学)
	R53c 銀河形成期のガスの力学的進化 斎藤貴之 (北海道大学)	11:06	R65a 中質量ブラックホールの合体で生じる重力波の頻度 松林達史 (理化学研究所 / 東京工業大学)
15:06	R54a SDSS に基づく銀河系ハロー部の大局構造 千葉柊司 (東北大学)	11:18	R66a Astrometric Microlensing by a Single Star with External Shear 高橋芳太 (京都大学)
	R55c Infrared Starcount Model of the Galaxy 山縣朋彦 (文部科学省)	11:30	R67a 重力・慣性力と、ダークマターの 95% が分かった。 間瀬博文
15:18	R56a 惑星系を持った金属欠乏星の大気汚染 茂山俊和 (東京大学)		

S. 活動銀河核

9月26日(金)午後・E会場			
14:30	S01b	VERAを用いたクエーサー 3C345と NRAO512の位相補償 VLBI 観測 榊原誠一郎(鹿児島大学)	15:06 S12b ブレーザー 3C279の放射機構と電子スペクトル 加藤知弘(関西学院大学)
14:30	S02b	水メーザー高速度成分の速度ドリフト 山内 彩(九州大学)	15:18 S13b SDF/SXDS 領域における Subaru/Suprime-Cam データを用いた変光天体研究 諸隈智貴(東京大学)
14:30	S03b	NGC 1052に速度幅 18 km s^{-1} のメ ガメーザー成分を検出 亀野誠二(国立天文台)	15:18 S14b 爆発的星形成活動を伴う AGN を遮 蔽するガス雲の力学 渡部靖之(筑波大学)
14:42	S04b	VLBI 偏波観測を用いた活動銀河核 ジェット内の3次元磁場構造の推定2 浅田圭一(総合研究大学院大学)	
14:42	S05b	活動銀河核 3C 120 電波ジェットの 磁場構造とファラデー回転量度の分布 永井 洋(東京理科大学)	9月27日(土)午前・E会場
14:42	S06b	XMM-Newton 衛星による、電波銀 河 3C 98 の観測 磯部直樹(宇宙開発事業団)	09:30 S15a 我銀河系中心部における複数の超巨 大ブラックホールについての存在確 認(その1) 大家 寛(福井工業大学)
14:54	S07b	Chandra 衛星による電波銀河 3C15 の観測: ジェットからローブへのエ ネルギー輸送 片岡 淳(東京工業大学)	09:42 S16a 低光度 AGN のミリ波スペクトル 土居明広(東京大学)
14:54	S08b	Newton 衛星で見られる Seyfert 1 型 銀河の X 線反射成分の寄与 大野雅功(広島大学)	09:54 S17a AGN complete hard X-ray flux- limited sample のスペクトル統計解 析 篠崎慶亮(東京都立大学)
14:54	S09b	Chandra 衛星による近傍通常銀河中 の超低光度活動的銀河核の探索 寺島雄一(宇宙科学研究所)	10:06 S18a 活動銀河核の硬 X 線光度関数の決定 (II) 上田佳宏(宇宙科学研究所)
15:06	S10b	XMM-Newton による 2 型セイ ファート銀河 NGC6300 からの短時 間変動の発見 村上博克(愛媛大学)	10:18 S19a XMM-Newton 衛星を用いた 1 型狭 輝線セイファート銀河における 逆コンプトン散乱過程の観測的研究 村上未生(東京大学)
15:06	S11b	ブレーザージェットにおけるミッシ ングパワーの推定 紀 基樹(東京大学)	10:30 S20a Red AGN/QSOs in a Hard X-ray Selected AGN/QSO Sample 渡辺ちさと(京都大学)
			10:42 S21a The Largest Blueshift of Broad [O III] Emission-line in Two Narrow-line Quasars; DMS 0059-0055 & PG 1543+489 青木賢太郎(国立天文台)

10:54	S22a XMM-Newton による Narrow line Seyfert 1 型銀河 NGC 4051 の観測 幅 良統 (宇宙科学研究所)	14:30	S32a 3次元磁気降着円盤の輻射スペクトルとその時間変動 大須賀 健 (京都大学)
11:06	S23a Stellar and Gas Kinematics of the Seyfert 1 Galaxy NGC 4151 小杉城治 (国立天文台)	14:42	S33a 磁気降着流によるブラックホールの角運動量損失 高橋真聡 (愛知教育大)
	S24c Subaru/HDS Observation of High-ionization Nuclear Emission-Line Region in the Seyfert Galaxy NGC 4151 長尾 透 (東北大学)	14:54	S34a 何が broad-line region のサイズを決めるのか 嶺重 慎 (京都大学)
	S25c セイファート銀河 NGC4151 のダストガスの広域分布 大谷 浩	15:06	S35a 大局磁場による質量降着率の抑制 鎗木 修 (山口大学)
11:18	S26a クェーサーの光度変動源を空間的にマッピングする方法 米原厚憲 (筑波大学)	15:18	S36a 相対論的プラズマの熱輸送と運動量輸送 岩本静男 (京都大学)
9月27日(土)午後・E会場			
13:30	S27a MAGNUM プロジェクト (1) 現状報告 小林行泰 (国立天文台)		
13:42	S28a MAGNUM プロジェクト (2) ダスト反響法に基づく活動銀河の近赤外変光曲線のモデル解析 吉井 譲 (東京大学)		
13:54	S29a MAGNUM プロジェクト (3) NGC 4151 - 1000 日間の変光 峰崎岳夫 (東京大学)		
14:06	S30a MAGNUM プロジェクト (4) NGC 5548 中心核のダストトラス内縁と広輝線放射領域の関係 菅沼正洋 (東京大学)		
14:18	S31a 活動銀河核ダスト円盤内部での輻射輸送モデル 高島賢二 (東京大学)		

T. 銀河団

9月26日(金) 午前・E会場		9月26日(金) 午後・E会場	
09:30	T01a Deep Spectroscopy of the Very Extended Emission-Line Region around NGC 4388 in Virgo Cluster 吉田道利 (国立天文台)	11:06	T13a 音波による銀河団コアの加熱 藤田 裕 (国立天文台)
09:42	T02a Chandra 衛星によるおとめ座銀河団の銀河の周りに広がる X 線ガスの発見 飯塚 亮 (宇宙科学研究所)	11:18	T14b 銀河団におけるコールドフロント形成の磁気流体数値実験 浅井直樹 (千葉大学)
09:54	T03a 高分解能 Sunyaev-Zel'dovich 効果観測と銀河団物理 北山 哲 (東邦大学)	11:18	T15b 銀河団二重構造の熱的進化による可能性 赤堀卓也 (東京都立大学)
10:06	T04a X 線観測による暗黒銀河群候補天体 RX J0419+0225 の進化に関する研究 川原田 円 (東京大学)	11:18	T16b Chandra 衛星による A1060 銀河団ガスの温度・重元素分布の観測 早川 彰 (東京都立大学)
10:18	T05a 三軸不等楕円体モデルを用いた重力レンズアーク統計 大栗真宗 (東京大学)	11:30	T17b Chandra 衛星による銀河団高温プラズマ中の鉄の空間分布の系統的解析 河嶋健吾 (広島大学)
10:30	T06a SDSS データを用いた近傍宇宙の銀河の性質とその環境依存性 田中賢幸 (東京大学)	11:30	T18b XMM-Newton によるペルセウス座銀河団周辺の電波銀河 IC310 の観測 佐藤浩介 (東京都立大学)
10:42	T07b An Association of QSOs and a Supercluster at $z=1.3$? 太田耕司 (京都大学)	9月26日(金) 午後・E会場	
10:42	T08b 近傍の重力レンズ銀河団 A2124 の Chandra による観測 片山晴善 (宇宙開発事業団)	13:30	T19a 中心の重元素量の非常に大きい銀河団 MKW4 の鉄の空間分布 深沢泰司 (広島大学)
10:42	T09b Chandra 衛星による銀河群における重力ポテンシャル構造の測定 夫 才修 (広島大学)	13:42	T20a 銀河団における II 型超新星による重元素合成 松下恭子 (東京理科大学)
	T10c 未同定 EGRET ソースと銀河団 II. 川崎 渉 (ASIAA)	13:54	T21a The elemental abundances in the intracluster medium as observed with XMM-Newton 田村隆幸 (宇宙科学研究所)
	T11c 大規模数値計算による原始銀河団領域の研究 諏訪多聞 (北海道大学)	14:06	T22a Chandra 衛星による AWM7 銀河団中心部のガス塊とメタル分布 古庄多恵 (宇宙科学研究所)
10:54	T12a 何が銀河団プラズマの放射冷却を止めているか? 牧島一夫 (東京大学)	14:18	T23a XMM-Newton 衛星による銀河団 A1674 の X 線観測 林田 清 (大阪大学)

U. 宇宙論

9月25日(木) 午前・F会場			
10:00	U01a 宇宙膨張論の検証 (そのI 基本的な認識) 阿武靖彦	11:36	U12a ガンマ線スペクトルによる GRB の距離推定と星形成歴 米徳大輔 (金沢大学)
10:12	U02a 時空における理論と観測の相対論的解析 船越克巳	11:48	U13a 低質量ダークハローの質量関数 矢作日出樹 (国立天文台)
10:24	U03b クォークナゲットによるクォーク星や MACHO の形成の可能性 疋田進一 (大阪大学)	12:00	U14a 宇宙背景放射における初期磁場の影響とその定量化 山崎 大 (東京大学)
10:24	U04b 宇宙項をもつ Brans-Dicke 理論と CMB 異方性を考慮したビッグバン元素合成による宇宙バリオン数の制限 蒲生心也 (九州大学)	9月25日(木) 午後・F会場	
10:24	U05b 宇宙背景輻射揺らぎによるブレーン宇宙モデルの検証 市来浄典 (東京大学)	14:00	U15a 位相情報を用いた宇宙の構造解析 I: 解析的公式 松原隆彦 (名古屋大学)
10:36	U06b 時間変化する宇宙項を考慮した超新星背景ニュートリノ 小野博之 (東京理科大学)	14:12	U16a 位相情報を用いた宇宙の構造解析 II: 大規模構造の N 体シミュレーション 日影千秋 (東京大学)
10:36	U07b すばる望遠鏡によるコスミック・ストリングの探索 II 白崎裕治 (国立天文台)	14:24	U17a 密度ゆらぎ確率分布関数の解析的なモデル 太田泰弘 (東京大学)
10:48	U08a 銀河団 - 銀河団マイクロレンズによる暗黒物質 MACHOs の探索 戸谷友則 (京都大学)	14:36	U18a MDGRAPE-2 を使った N 体シミュレーションと大規模構造形成 薄田竜太郎 (理化学研究所)
11:00	U09a すばる主焦点 Multi-band 撮像データを用いた Cosmic String 探索 山内良亮 (東北大学)		U19c 標準理論において生成される宇宙論的欠陥 長澤倫康 (神奈川大学)
11:12	U10a コンパクト電波源の θ - z 関係による宇宙パラメータの制限について II 岡島礼奈 (東京大学)		
11:24	U11a ミリ波電波カメラによる SZ 効果観測: ONOFF パイロット観測 坪井昌人 (茨城大学)		

V. 地上観測機器

9月25日(木) 午後・F会場		9月26日(金) 午前・F会場	
14:48	V01a TAMA300の現状(13) 高橋竜太郎(国立天文台)	09:30	V14a 近赤外線多天体撮像分光装置の開発 IV:総合調整 市川 隆(東北大学)
15:00	V02a 京都大学附属天文台新太陽望遠鏡 SMART設計の概要 北井礼三郎(京都大学)	09:42	V15a すばる望遠鏡 FOCAS用 VPH グリ ズムの RCWA を用いた設計と試作 岡 恵子(日本女子大学)
15:12	V03b SMART 望遠鏡—光学設計と性能評 価試験 I 高津裕通(京都大学)	09:54	V16a すばる望遠鏡観測装置 FOCAS: VII. 高分散分光/偏光モード試験観測 川端弘治(国立天文台)
15:12	V04b 飛騨天文台に設置された SMART で 使用する Lyot Filter ノ性能ニツイテ その 1 高津裕通(京都大学)	10:06	V17a 中間赤外線高分散分光観測装置 IRHS: 光学系の開発 所 仁志(名古屋大学)
15:12	V05b SMART 搭載フィルタマグネトグラ フの特性 浅井 歩(京都大学)	10:18	V18a 中間赤外線高分散分光観測装置 IRHS: 検出器制御システムの設計開発 大森 実(三洋電機)
15:24	V06b SMART 望遠鏡搭載大フォーマット 高速読みだし CCD カメラの開発 I 神尾 精(京都大学)	10:30	V19a すばる望遠鏡汎用検出器制御シス テム Messia5 中屋秀彦(国立天文台)
15:24	V07b SMART 望遠鏡の観測装置制御シス テムの開発 永田伸一(京都大学)	10:42	V20a 研削鏡とトラス構造架台を用いた中 口径望遠鏡の製作 佐藤修二(名古屋大学)
15:24	V08b 汎用ネットワークベースの観測装置 制御システム開発 殿岡英顕(京都大学)	10:54	V21b ぐんま天文台ナスミス分光器 GAOES 橋本 修(ぐんま天文台)
15:36	V09b Correlation Tracking による太陽像 安定化装置 花岡庸一郎(国立天文台)	10:54	V22b 超伝導トンネル接合素子を用いた近 赤外～可視～紫外～極端紫外域の一 光子分光検出器の開発 (VI) 志岐成友(理化学研究所)
15:36	V10b 京都大学飛騨天文台ドームレス太陽 望遠鏡の装置による偏光の補正 清原淳子(京都大学)	10:54	V23b 完全空乏型 CCD の開発 (2) 鎌田有紀子(国立天文台)
15:36	V11b 野辺山電波ヘリオグラフの稼働率 関口英昭(国立天文台)	11:06	V24b 新技術望遠鏡架台の開発経過 栗田光樹夫(名古屋大学)
15:48	V12b 電波ヘリオグラフ 84 台の F E 受 信機部の性能保持対策とその総括 川島 進(国立天文台)	11:06	V25b 鹿児島大学 光・赤外線望遠鏡 赤外 線カメラ立ち上げ 渡部裕貴(鹿児島大学)
15:48	V13b 野辺山偏波計共通バックエンド受信 機の製作 篠原徳之(国立天文台)	11:06	V26b すばる望遠鏡レーザガイド星補償光 学系の開発 (3) 早野 裕(国立天文台)
		11:18	V27a JVO の研究開発 (その 7: 全体進捗 と国際連携) 大石雅寿(国立天文台)

11:30	V28b JVO の研究開発 (その 8 : プロトタイプ I の評価と II の開発) 本田敏志 (国立天文台)	14:18	V42b ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発 V 有吉誠一郎 (総合研究大学院大学)
11:30	V29b 近赤外線多天体分光装置の開発 V : LabVIEW を用いた制御システム 吉川智裕 (東北大学)	14:18	V43b ASTE 搭載用カートリッジ型 345GHz 帯受信機の開発と試験観測 村岡和幸 (東京大学)
11:30	V30b すばる望遠鏡のシーイング統計 宮下曉彦 (国立天文台)	14:18	V44b ASTE 搭載 3 色ボロメータの開発 (5) 小林 純 (東邦大学)
11:42	V31b 30m 基線三鷹光赤外干渉計 MIRA- I.2 の観測開始 西川 淳 (国立天文台)	14:30	V45b 200GHz 帯 2SB 受信機の開発 中島 拓 (大阪府立大学)
	V32c ガンマ線バースト可視光残光専用分 光器の開発 園田絵里 (宮崎大学)	14:30	V46b ATF 用 100GHz 帯 2SB カートリッ ジ型受信機の開発 木村公洋 (大阪府立大学)
9 月 26 日 (金) 午後・F 会場		14:30	V47b 直交偏波計 (OMT) による 100 GHz 帯両偏波観測装置の開発 中島 錦 (大阪府立大学)
13:30	V33a Linux による電波望遠鏡制御ソフト ウェアの開発 : NANTEN2 無人運用 システムにむけて 笹子宏史 (名古屋大学)	14:42	V48b 北海道大学 11m 電波望遠鏡の 22GHz 化 : (1) 全体の進捗状況 俣俣和夫 (北海道大学)
13:42	V34a パルサータイミング観測用 GPS 受 信器の導入 岳藤一宏 (早稲田大学)	14:42	V49b 北海道大学 11m 電波望遠鏡の 22GHz 化 : (2) フロントエンド 栗野隼太 (北海道大学)
13:54	V35b ALMA 64 素子アレイと ACA による 広視野イメージングの感度 森田耕一郎 (国立天文台)		V50c 北海道大学 11m 電波望遠鏡の 22GHz 化 : (3) 中間周波数部 住田桜子 (北海道大学)
13:54	V36b ALMA-J プロトタイプアンテナ制御 系の開発 早川貴敬 (東京大学)	14:42	V51b 野辺山ミリ波干渉計素子アンテナに おける日射の影響 (II) 中西康一郎 (国立天文台)
13:54	V37b ALMA 型受信機光学系の評価測定シ ステム 松永真由美 (愛媛大学)	14:54	V52b VERA アンテナのポインティング性 能報告 中島廣一郎 (鹿児島大学)
14:06	V38b ALMA 受信機カートリッジの熱伝導 率の測定 飯塚吉三 (国立天文台)	14:54	V53b VERA2 ビーム位相較正実験の現状 清水理絵 (鹿児島大学)
14:06	V39b ALMA デュワー用カートリッジの撓 み評価 鈴木和司 (名古屋大学)	14:54	V54b W3OH 水メーザを用いた VERA の マッピング性能の評価 亀谷 収 (国立天文台)
14:06	V40b ALMA 500GHz 受信機の雑音温度の 成分分解 鳥羽弘之 (東京大学)	15:06	V55b パルサー観測用ベースバンド HD ア レイと安定化電源の製作 吉村直也 (早稲田大学)
	V41c ALMA バンド 4 SIS ミキサの開発 浅山信一郎 (大阪府立大学)	15:06	V56b 2002 年 2 月に出現した突発電波源 は、天体ではなかったのか ? 国吉雅也 (早稲田大学)

15:06	V57b $\delta = 32^\circ$ ゾーンにおける高感度サーベイの試み 新沼浩太郎 (早稲田大学)	10:42	V71a AGN の電波スペクトル解析 松村寛夫 (早稲田大学)
15:18	V58b 超広帯域開口合成型天体干渉計の開発 大田 泉 (東北大学)	10:54	V72a ホーン直結型低雑音 RF アンプシステムの構築と評価、及びトランジェント電波源サーベイ 市川 創 (早稲田大学)
15:18	V59b 60 cm 電波望遠鏡のマルチライン同時観測計画 興梠 淳 (大阪府立大学)	11:06	V73a 窒化ニオブを用いたテラヘルツ帯導波管型 SIS ミクサ 王 鎮 (通信総合研究所)
	V60c SETI における非周期的パルス波列の Real-Time 解析による検出可能性 白井俊道 (Goldman Sachs (Japan) Ltd.)	11:18	V74a 高温超伝導フィルタによる 2GHz 帯電波天文用受信機の広帯域化と混信排除 川合栄治 (通信総合研究所)
	V61c 複素ミキサー機能の数学的基礎 神吉貴博 (早稲田大学)	9 月 27 日 (土) 午後・F 会場	
	V62c 山口大学小型電波望遠鏡の基礎研究 田村さやか (山口大学)	13:30	V75a VERA の現状と今後のシステム向上 小林秀行 (国立天文台)
	V63c 携帯型 GPS 受信機を用いた山口 32m 電波望遠鏡の位置決定 佐伯太郎 (山口大学)	13:42	V76a 汎用 PC による 2Gbps-VLBI システムの完成 木村守孝 (通信総合研究所)
	V64c 山口 32m 電波望遠鏡の指向精度とスカイライン測定 藤沢健太 (山口大学)	13:54	V77a スーパー S I N E T を利用した光結合観測網の拡張計画 川口則幸 (国立天文台)
9 月 27 日 (土) 午前・F 会場		14:06	V78a フォトニック局部発振器による電波天文観測 高野秀路 (国立天文台)
09:30	V65a 分布屈折率レンズを利用した可視域ファイバー分光実験 額賀 理 (北海道大学)	14:18	V79a F-FX 型相關器の開発 井口 聖 (国立天文台)
09:42	V66a 幾何学的位相変調法によるナル干渉実験 加藤陽平 (北海道大学)	14:30	V80a 高温超伝導体の応用による ALMA-Band10 SIS ミクサーの開発 前澤裕之 (国立天文台)
09:54	V67a フレネルロムによる中間赤外用アクロマティック位相シフターの検討 古田裕典 (北海道大学)	14:42	V81a Atacama Compact Array におけるイメージング性能の評価 堤 貴弘 (国立天文台)
10:06	V68a ナル干渉型ステラコロナグラフと偏光に基づく系外惑星直接検出法 村上尚史 (北海道大学)	14:54	V82a フォトニックローカルオシレータの性能評価 上田暁俊 (国立天文台)
10:18	V69a 早稲田大学那須観測所データ解析報告 国吉雅也 (早稲田大学)	15:06	V83a ALMA/band10, band8 カートリッジ型受信機と ASTE 搭載試験 杉本正宏 (東京大学)
10:30	V70a 那須大型干渉計の制御システムの完成とその赤外線巨大鏡への応用 澤野昭博 (早稲田大学)	15:18	V84a デジタルフィルタバンク周波数応答特性の測定 倉山智春 (東京大学)

W. 飛翔体観測機器

9月26日(金) 午前・G会場			
09:30	W01a ガンマ線バースト観測用 Swift 衛星 佐藤悟朗 (宇宙科学研究所)	10:54	W12b MAXI のデータプロセッサ (DP) リリース 2 小浜光洋 (理化学研究所)
09:42	W02a ガンマ線バースト観測衛星 Swift 搭載 BAT 検出器の有効面積の見積もり 鈴木雅也 (埼玉大学)	11:06	W13b HETE-2 衛星がとらえて赤道上空で の粒子数異常増加現象 (2) 中川友進 (青山学院大学)
09:54	W03a Astro-E2 搭載 X 線望遠鏡の性能評 価: First results of a flight telescope 伊藤昭治 (宇宙科学研究所)	11:06	W14b 超高精度 X 線用望遠鏡の開発～ CCD カメラの研究～ 齋藤晴江 (立教大学)
10:06	W04a 斜入射法によるバックサイド CCD の X 線検出効率校正 白庄司貴之 (大阪大学)	11:06	W15b 超高角度分解能 X 線望遠鏡の開発～ 波面センサーと閉ループ制御 北本俊二 (立教大学)
10:18	W05b Astro-E2 搭載 X 線 CCD(XIS) flight model の性能評価 中嶋 大 (京都大学)	11:18	W16b ASTRO-F/IRC による中間赤外線全 天サーベイ (続) 石原大助 (東京大学)
10:18	W06b Astro-E2 搭載 X 線 CCD カメラ用較 正線源の評価 市川喜徳 (総合研究大学院大学 / 宇宙研)	11:18	W17b ASTRO-F/FIS 用極低温読み出し回 路の耐放射線評価 II 平尾孝憲 (名古屋大学)
10:18	W07b Astro-E2 衛星搭載サーマルシールド のフィルターの透過率特性 田中 武 (名古屋大学)	11:18	W18b ガリウム砒素半導体を用いた高感度 サブミリ波検出器の開発 渡辺健太郎 (東京大学)
10:30	W08a 全天 X 線監視装置 (MAXI) 搭載ガス スリットカメラ (GSC) の応答測定 鵜澤政美 (青山学院大学)	9月26日(金) 午後・G会場	
10:42	W09a 全天 X 線監視装置 (MAXI) のデー タ処理システムの開発と現状 根来 均 (日本大学)	13:30	W19b 硬 X 線散乱型イメージングポラリメ ータの検討 林田 清 (大阪大学)
10:54	W10b 全天 X 線監視装置 (MAXI) 開発の 現状 富田 洋 (宇宙開発事業団)	13:30	W20b 次期 X 線天文衛星 NeXT 搭載用 N 型 CCD の性能評価 (2) 高木慎一郎 (京都大学)
10:54	W11b 全天 X 線監視装置 (MAXI) 搭載 ガ ススリットカメラ (GSC) の低エ ネルギーキャリアレーションシステ ムの構築 磯部直樹 (宇宙開発事業団)	13:30	W21b 衛星搭載用断熱消磁冷凍機の試作と 性能評価 藤本龍一 (宇宙科学研究所)
		13:42	W22b 衛星搭載を目指した小型パルス管冷 凍機の性能評価 久志野彰寛 (宇宙開発事業団)

13:42	W23b ガードリング電極によるショットキー型 CdTe ダイオード検出器の改良 大貫宏祐（宇宙科学研究所）	14:54	W35b フィルムレンズアンテナ用位相シフタの形状による特性比較 氏原秀樹（国立天文台）
13:42	W24b 狭視野型軟 γ 線コンプトンカメラの感度の見積もり 川埜直美（広島大学）	14:54	W36b JASMINE における星像中心の高精度位置決定 矢野太平（国立天文台）
13:54	W25b ガンマ線コンプトンカメラによる偏光観測の検証 木原邦夫（広島大学）	W37c JASMINE（近赤外線高精度位置天文観測衛星）の光学系 郷田直輝（国立天文台）	
13:54	W26b 位置検出型光電子増倍管とシンチレータアレイによる偏光検出の可能性 富永慎弥（広島大学）	14:54	W38b SOLAR-B 衛星搭載 X 線望遠鏡（XRT）の開発 坂尾太郎（宇宙科学研究所）
13:54	W27b 半導体コンプトンカメラのアナログ信号処理用 LSI の開発 田村健一（宇宙科学研究所）	15:06	W39b Solar-B 搭載 X 線望遠鏡の CCD カメラのシステムゲインおよび読みだしノイズ評価 鹿野良平（国立天文台）
	W28c Well-type 硬 X 線偏光計 PoGO の開発と気球実験への応用（II） 片岡 淳（東京工業大学）	W40c Solar-B X 線望遠鏡の CCD カメラ量子効率測定 原 弘久（国立天文台）	
14:06	W29a 高角分解能多重薄板積層型 X 線望遠鏡の研究・開発 II 井上智暁（東京都立大）	15:06	W41b Solar-B 可視光望遠鏡（SOT）開発進捗状況 清水敏文（国立天文台）
14:18	W30a 硬 X 線望遠鏡の開発とその性能評価 高橋里佳（名古屋大学）	15:06	W42b Solar-B 使用材料のアウトガス測定と光学部品の汚染評価 田村友範（国立天文台）
14:30	W31a 広視野 X 線分光ミッションのための X 線望遠鏡の開発 - II 内藤聖貴（名古屋大学）	W43c IBS による Solar-B 可視光望遠鏡用バンドパスフィルターの製作 和瀬田幸一（国立天文台）	
14:42	W32b VSOP-2 ミッションの衛星システム 村田泰宏（宇宙科学研究所）	15:18	W44b Solar-B 可視光望遠鏡：熱真空光学試験における焦点移動量の評価 勝川行雄（東京大学）
14:42	W33b 次期スペース VLBI 衛星の広帯域データ伝送システム 輪島清昭（国立天文台）	W45c Solar-B 搭載可視光望遠鏡：熱光学試験波面測定 加藤禎博（国立天文台）	
14:42	W34b 次期電波天文観測衛星 VSOP-2 の受信系の検討と開発 春日 隆（法政大学）	15:18	W46b Solar-B 可視光望遠鏡：擾乱伝達特性の測定と光学性能への影響について 阪本康史（東京大学）

9月27日(土) 午前・G会場		9月27日(土) 午後・G会場	
09:30	W47a 高分解能 Si/CdTe 半導体を用いたコンプトンカメラのプロトタイプ 三谷烈史 (宇宙科学研究所)	13:30	W58a 赤外線天文衛星 ASTRO-F の開発現状 村上 浩 (宇宙科学研究所)
09:42	W48a CdTe イメージャを用いた宇宙ガンマ線気球実験の現状 中澤知洋 (宇宙科学研究所)	13:42	W59a ASTRO-F 望遠鏡の現状報告と主鏡支持部の再検討 金田英宏 (宇宙科学研究所)
09:54	W49a アバランシェフォトダイオードと高阻止能結晶シンチレータ BGO を用いた軟ガンマ線検出器 中本達也 (広島大学)	13:54	W60a ASTRO-F 搭載中間赤外線カメラ (MIR-L) の開発の現状 藤代尚文 (東京大学)
10:06	W50a アバランシェ・フォトダイオードによる低エネルギー γ 線シンチレーション検出 五十川知子 (東京工業大学)	14:06	W61a ASTRO-F/FIS 搭載 短波長バンド検出器の性能評価 白旗麻衣 (東京大学/宇宙科学研究所)
10:18	W51a Well-type 硬 X 線偏光計 PoGO の開発と気球実験への応用 (I) 片岡 淳 (東京工業大学)	14:18	W62a ASTRO-F 搭載遠赤外線観測装置 FIS の分光モードの性能評価 高橋英則 (東京大学)
10:30	W52a TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 VII—マッシュルーム形状ピスマスメッキ吸収体の製作と性能評価— 古賀丈雄 (東京都立大学)	14:30	W63a ASTRO-F 搭載 FSTS フライトモデルの性能評価 鈴木仁研 (東京大学/宇宙科学研究所)
10:42	W53a Extreme Universe Space Observatory (EUSO) 戎崎俊一 (理化学研究所)	14:42	W64a 次世代赤外線天文衛星 SPICA のための大型冷却望遠鏡の開発 (II) 中川貴雄 (宇宙科学研究所)
10:54	W54a Estimating gravitational waves under the binary confusion noise 端山和大 (東京大学)	14:54	W65a SPICA 望遠鏡のための複合材料軽量鏡材 C/SiC の開発 II 塩谷圭吾 (宇宙科学研究所)
11:06	W55a 次期スペース VLBI ミッション VSOP-2 平林 久 (宇宙科学研究所)	15:06	W66a 宇宙望遠鏡用 SiC 超軽量ミラーの開発 海老塚 昇 (理化学研究所)
11:18	W56a VSOP-2 の科学目標 — VSOP-2 サイエンスワーキンググループ報告— 亀野誠二 (国立天文台)		
11:30	W57a VSOP-2 における位相補償 VLBI 河野裕介 (国立天文台)		

X. 情報処理

9月25日（木）午前・D会場		
10:00	X01a JASMINE シミュレーターの開発 III 山田良透（京都大学）	
10:12	X02b リアルタイム数値宇宙天気予報システムの開発 田 光江（通信総合研究所）	
10:12	X03b ぐんま天文台におけるデータ取得、 データアーカイブシステム 衣笠健三（ぐんま天文台）	
10:12	X04b 多体シミュレーション専用計算機 PROGRAPE-2 での SPH 法の実行 福重俊幸（東京大学）	

Y. 天文教育・その他

9月25日（木）午後・G会場		
14:00	Y01a VLBI 観測用電波源カタログの作成 藤下光身（九州東海大学）	Y06c 教育用簡易天体画像解析ソフトウェア QFITS の開発 小池邦昭（東京理科大学）
14:12	Y02a 高校地学における観測実習を軸とした授業展開 山田隆文（登美ヶ丘高校）	Y07c 東京大学木曾観測所における天文教育活動～サイエンスパートナーシッププログラムへの取り組み 三戸洋之（東京大学）
14:24	Y03b 恒星の色と温度を体感させるデジタル分光カメラの作成 土橋一仁（東京学芸大学）	
14:24	Y04b 教育用すばる画像解析ソフト“マカリ（Makali'i）”の開発とその評価 古荘玲子（国立天文台）	
14:24	Y05b すばる望遠鏡建設記録映画の制作とその広報・普及利用の評価 縣 秀彦（国立天文台）	

年会実行委員会

委員長	土 居 守	(東京大学)
委 員	児 玉 忠 恭	(国立天文台)
	下 条 圭 美	(国立天文台)
	藤 本 龍 一	(宇宙科学研究所)
	百 瀬 宗 武	(茨城大学)
	山 村 一 誠	(宇宙科学研究所)
	鈴 木 知 治	(東京大学)
	加藤万里子	(慶應大学) 保育室担当
	吉 川 真	(宇宙科学研究所) ジュニアセッション担当

年会開催地理事

栗 木 久 光	(愛媛大学)
---------	--------